

【報告】令和6年度事業の進捗状況（6月末現在）

令和6年度は、居住支援バンクや居住支援を行う登録団体との連携等、令和5年度に展開した事業の定着と一層の推進に取り組み、協議会会員との協力のもと、住宅確保要配慮者に身近な地域での居住支援の認知度を高めながら、住宅確保要配慮者の入居を拒まない物件の確保と登録団体への支援を強化している。

事務局では、ワーキングチームを中心に事業を進めている。令和6年度の編成は以下の2チームである。

（1）企画運営ワーキング

協議会会員および登録団体との連携で、セミナーや居住支援バンクへの物件登録を促進するワーキングチーム（4月22日、5月21日開催）

（2）情報発信ワーキング

ホームページやガイドブックによる情報発信を行うためのワーキングチーム（4月23日開催）

1. 新規・強化する事業の進捗状況

（1）高齢者の居住支援を進める仕組みづくり

①オーナー及び不動産店向けのセミナーの実施に向けて、事務局で検討を進めている。

■開催予定：11月上旬

■プログラム（案）：[登録団体] 居住支援事例の紹介、[豊島区福祉部局] 豊島区高齢者サービスの紹介

②社会福祉協議会へ住宅確保用配慮者の入居支援について説明を行った。（5月31日実施）

③不動産関連団体に向けて、豊島区の居住支援や高齢者サービスの説明を予定している。

（2）セーフティネット専用住宅の供給、としま居住支援バンクの登録の促進及び入居支援にかかるサービスの周知

①豊島区高齢者等入居支援協力店、居住支援事業協力店、及び協議会会員不動産関連団体会員への訪問やヒアリングを進めている。

②としま居住支援バンクについては、システムの安定的な運用と合わせて、改善に取り組んでいる。（登録戸数21戸 6月末現在）

（3）居住支援の包括的なネットワーク体制の構築

①日本女子大と連携し、居住支援に係る小地域ネットワークの実態把握に取り組む予定である。

②登録団体交流会の実施に向けて準備を進めている。交流会では、豊島区の高齢者事業の

紹介や住宅関連施策の説明を行う予定である。

■開催予定：9月上旬

■開催場所：YRイベントホール（池袋駅西口）

③他の自治体や居住支援協議会と交流し、知見の共有を行う場を設けている。

（４）住宅確保要配慮者のニーズに応じる体制の整備

①池２・３の会（豊島区民社会福祉協議会、高齢者相談センター）と共催で地域での相談の場である「みんなのえんがわ池袋」の運営を行っている（５月１４日開催、以降奇数月開催）。

②登録団体との共催での都営住宅応募サポート会を１１月実施にむけて準備を進めている。

③新たな居住支援団体については、株式会社 IRIS が登録された。また、東京都居住支援法人および豊島区精神障がい者事業所連合会と連携について意見交換を行い、登録手続きを進めている。

２．継続する事業

登録団体が増えたことに合わせ、居住支援事業等を確認し、ガイドブックの更新に取り組んでいる。

[年間予定表]

取組み内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 高齢者の居住支援を進める仕組みづくり	高齢者の居住支援を進める仕組みづくり												
											セミナーの開催		
												●	
2 セーフティネット専用住宅の供給、としま居住支援バンクの登録の促進及び入居支援にかかるサービスの周知	バンクシステム検証												
	システムの保守												
	空き家活用条例による活用団体登録の普及、サブリース方式支援方策の検討												
	SN住宅・バンクの普及・啓発・物件の掘り起こし												
											協力店への訪問を通じた協議会活動の理解促進		
												見本市 出展	
												●	
3 居住支援の包括的なネットワーク体制の構築	豊島型居住支援の実態把握、構築支援（日本女子大との共同研究）												
	登録団体との情報交流（適宜）												
												交流会	
												●	
	都営住宅応募サポート会共催												
4 住宅確保要配慮者のニーズに応じる体制の整備	CSW 相談会参加												
	●		●		●			●		●		●	
4 普及啓発活動の推進	SNSでの情報発信、ホームページ更新（随時）、広報の活用												
												●	
												ガイドブックの更新	
会議	総会		臨時総会									臨時総会	
	●		●									●	